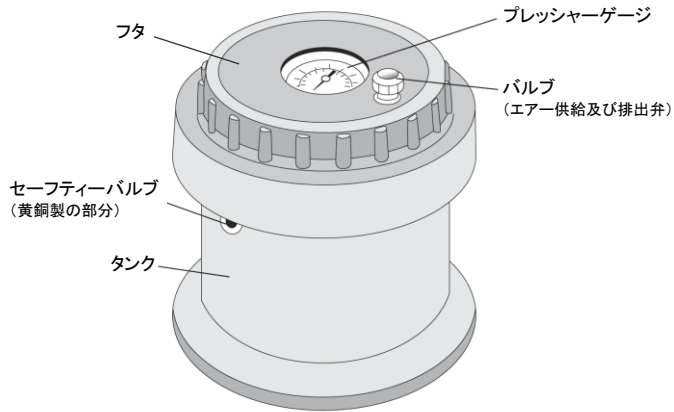


器 70 歯科用鑄造器
一般医療機器 歯科技工用加圧埋没器 70756000

加圧埋没器

【形状・構造及び原理等】



タンク内高さ： 90mm
タンク内径： φ110mm

【使用目的又は効果】

ろう型を埋没するために用いる装置で、気泡の発生を抑制する加圧機能を備える。

【使用方法等】

1. 通法に従いろう型を埋没したキャスティングリングを用意し、タンク内に置く。フタとタンクにある 4 点の突起どうしが当たらない位置でフタをタンクにのせ、時計回りに止まるところまで回してフタを閉める。フタを持ち上げ、タンクから外れないことを確認する。
2. 反時計回りにバルブを回し、外れない程度の高さまで上げる。バルブ上部の穴にエアガンの先端をあて、プレッシャーゲージが黒い目盛の 6～8bar に達するまでエアを供給する。（ただし、多少低い圧力でも効果を発揮する。）エア供給完了後もバルブは上がったままにしておく。エアが漏れ圧力がかからない場合には、フタの周囲一箇所を軽く抑えてエア供給を行う。
3. 埋没材メーカーの指示する硬化時間に従い、初期硬化が終わるまでそのままにする。
※指定時間をこえてキャスティングリングを入れたままでも埋没材、ろう型に影響はない。
4. 硬化後、バルブを時計回りに回して下げ、エアを排出し減圧する。タンク内のエアが完全に抜けたらフタを開け、キャスティングリングを取り出す。

「使用方法に関連する使用上の注意」

【使用目的又は効果】の項に記載の用途以外の使用はしないこと。特に水圧重合器としての使用は危険なので絶対にしないこと。ただし、保湿を目的としてタンク内にごく少量の水を入れて使用することは問題ない。

【使用上の注意】

- ・使用前に必ず製品の点検（【保守・点検に係る事項】参照）をし、異常が確認された場合使用しないこと。
- ・タンク内に水をいれて使用する際は、少量とすること。
- ・8bar を超えて加圧しないこと。
- ・エアが完全に抜けるまで、セーフティーバルブのロック機能によりフタは開かない。減圧の途中で無理にフタを開けないこと。
- ・歯科医療有資格者以外は使用しないこと。

【保管方法及び有効期間等】

- ・傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）など安定状態に注意すること。
- ・水を使用した場合、水分を十分拭き取ってから保管すること。
- ・「もらいさび」を防ぐため、錆びている器具と一緒に保管しないこと。
- ・歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

【保守・点検に係る事項】

- ・使用前に必ず点検し、本品に破損、変形、ヒビ、その他損傷等が確認された場合、使用を中止すること。
- ・使用した後は、必ず乾燥させ、完全に乾燥していることを確認してから保管すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】* **

製造販売業者：フィード株式会社
商品インフォメーションデスク
電話 0120-004-504

製造業者：タリレス メストライツァ エス エル（スペイン）
（Talleres Mestraitua, S.L.）